

**10月6日**  
弟子屈の魅力为全国へ  
日本郵便がオリジナルフレーム切手を贈呈



日本郵便(株)北海道支社が発売したオリジナルフレーム切手「魅惑の大地 TESHIKAGA」が10月6日、町と一般社団法人摩周湖観光協会(中嶋康雄会長)に贈呈されました。10月12日に本町で開催された第5回全国道の駅連絡会総会・シンポジウム・道の駅祭りに合わせて作成されたもので、発行部数は1,500シート。摩周湖や屈斜路湖といった町内の観光名所を題材とした切手10枚で構成されています。釧路地区連絡会統括局長の佐藤太一釧路東郵便局長は「切手を通して弟子屈の魅力を最大限PRしたい」と話していました。

**10月6日**  
詐欺被害に遭わないように気をつけよう  
泉喜楽会が警察署員を講師に講演会開催



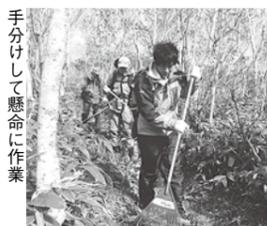
老人クラブ泉喜楽会の皆さんが10月6日、警察署員を講師に迎えて講演会を開催しました。高齢者がターゲットとなりやすい特殊詐欺被害を未然に防ぐため、いざというときの対応などを学ぼうと開催されたもので、28人が参加しました。講師は弟子屈警察署生活安全課の阿部巡査部長。「詐欺被害に遭わないために」と題し、突然の来訪者や不審電話への対応について説明しました。また、交通安全面では歩行者や自転車の方が注意する点についても説明があり、参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。

**10月7日～16日**  
弟子屈産ワインと地場産品の料理を楽しんで  
町内6店舗でエビロウィークエンド開催



弟子屈産のブドウ「山幸」のワイン「葡萄色の旦」と、地場産の食材を使った料理を味わうイベント「葡萄色の週末(エビロウィークエンド)」が10月7日～16日に行われました。弟子屈町ブドウ・ブドウ酒研究会(会長・徳永町長)が主催したもので、生産2期目となる今年のワインは約200本で市販するには数が少ないため、多くの方に味わってほしいと町内飲食店に呼びかけて開催されました。参加したカフェパルCOVO、すずめ食堂&バル、屈斜路ユースゲストハウスわこちカフェ、food & bar DOMANI、御食事処ぼっぼ亭、PUKA PUKAが、摩周パークや摩周そばなど地場産品を使った限定メニューと共にワインを提供。多くの方でにぎわいました。

**10月6日**  
屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会  
摩周岳登山道で今年度2回目のササ刈り



川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが10月6日、摩周岳登山道の整備を行いました。毎年、初夏と秋の2回、登山道入り口から西別岳への分岐点となる片道約5.6キロの間で実施されているものです。弟子屈町森林組合の皆さんが機械でササや伸び切った草を刈り、参加者の皆さん25人が5グループに分かれ、熊手で登山道中央部に寄せ集めていきました。また、台風の影響で登山道にかかってしまった倒木を撤去する作業も行われ、歩きやすい登山道となりました。

**10月17日**  
来年の「葡萄色の旦」に向けて  
ワイン醸造用ブドウを収穫



ワイン醸造用ブドウの収穫が10月17日、町民農園などで行われました。町では2009年から、ワイン用ブドウの栽培を行っています。町民農園と協力農家合わせて5,000平方メートルの畑で、寒冷地に適した「山幸」という品種、約1,000本を栽培。一昨年から醸造を依頼し、昨年、弟子屈産山幸のワイン「葡萄色の旦」が誕生しました。今年は夏に天候不順が続いた影響で糖度は昨年より低いものの、昨年の1.5倍となる450キロを収穫。ワイン醸造のため池田町に運ばれました。

**10月9日**  
屈斜路湖のためにできることを  
KFCが和琴半島で清掃活動



KFC(屈斜路フィッシングクラブ・北林勉会長)の会員28人が10月9日、和琴半島で清掃活動を行いました。今年は台風7号・11号・9号の影響により、和琴半島の遊歩道が流木などで覆われ通行できない状態となっていたため、屈斜路湖での釣りを愛する道内外の同会員が駆けつけ、清掃活動を行いました。清掃後は人が歩いて通れる状態に回復。会員の皆さんは「屈斜路湖のために、釣り人である自分たちが、今後もできることをコツコツ行っていきたい」と話していました。

**9月17日**  
摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが協力  
アカエゾマツの森でクラフト材料拾い



阿寒国立公園川湯地域で自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア(金井秀明会長)の皆さんが9月17日、川湯園地やアカエゾマツの森で、ネイチャークラフトの材料集めを行いました。川湯エコミュージアムセンター内のクラフト(制作)コーナーに置くためのもので、この日はアカエゾマツのマツボックリや木の枝、ドングリなどを拾いました。参加した皆さんは「自分たちの身の周りのものでも、クラフト材料として使ってもらえるのだと感じた。生活する中でも気にかけていきたい」と話していました。

**カメラスケッチ**  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**9月25日**  
町内外から愛好家が集まる  
熱戦続きの摩周湖ばん馬大会



第8回摩周湖ばん馬大会(摩周湖馬友の会主催)が9月25日、摩周馬場で開催されました。ばん馬文化の継承と地域活性化を目的に毎年開催されています。今年も道内各地から約100頭が集まり、馬齢や重量別の階級に分かれて迫力のあるレースを繰り広げました。また、来場者が騎手になれるオーナーレースや、中学生以下のお子さんによるポニーレースも行われました。会場では、ポニーとのふれあいコーナーや抽選会などのイベントも用意され、多くの方でにぎわいました。

**9月21日**  
もっとみんなに親しまれる水郷公園に  
弟子屈建設業協会がニシキゴイを放流



弟子屈建設業協会(辻谷智之会長)の皆さんが9月21日、水郷公園の池にニシキゴイ320匹を放流しました。同公園が開園から20年を経過し、池のゴイが減っていることや、町内で開催される全国道の駅連絡会を10月に控え、観光客の皆さんや町民の方にもっと親しまれる公園になってほしいと、放流を行ったものです。この日は摩周丘幼稚園(鈴木光栄園長)の年長児20人が招待され、会員の皆さんと一緒に放流。色鮮やかなニシキゴイをバケツで池に放し、歓声を上げていました。

**10月3日**  
農地保全の大切さを理解してほしい  
辻谷建設が小学生向けの現場見学会開催



弟子屈小学校(佐野哲哉校長)の5年生34人が10月3日、美留和地区で国営総合農地防災事業の工事現場見学を行いました。同工事を手掛ける辻谷建設(辻谷智之代表取締役)が、農地保全事業の大切さや建設業に理解を深めてほしいと、社会貢献活動として開催しているもので今回で5回目。児童は工事の概要について説明を受けた後、油圧式ショベルカーの操作や測量、浄化剤を使った汚濁水処理を体験しました。

**9月29日**  
交通事故防止に向けて意識を高め  
交通安全指導員道東ブロック研修会



平成28年度交通安全指導員道東ブロック研修会(道交通安全指導員連絡協議会主催)が9月29日、川湯温泉で開催されました。研修会には、釧路、根室、オホーツク、十勝管内の交通安全指導員など約380人が参加。出席者全員で交通事故の犠牲者に黙とうをささげた後、同協議会の渡邊修会長が「交通事故防止に向けて頑張ろう」とあいさつをしました。また、講師に釧路方面本部交通課の加藤貴公課長補佐、実践女子大学の松浦常夫教授を迎え、交通安全に向けた取り組みを学びました。